

くらやみ写真館

14:30 以降が撮影のチャンス！照明が少し明るくなり、セピア色の写真が撮れます。しかし、部屋が明るくなるということは、彼らにとっては「夜」がくるということ。ごはんを食べてお休みの時間です。かわいい寝顔や寝姿もお楽しみ下さい。



よこみとカワイ
ル-セツトオオコウモリ



ながしフェネック



とくいのホ-ス
アムールヤマネコ



のびるハクビシン

静岡市協働パイロット事業

制作 いきもの企画 <http://www.ikimono-kikaku.info/>

もっと 日本平動物園

夜行性動物館

が楽しくなる ムモ②



ねん がつ にち

なまえ

夜行性動物館のいきものをグループ分けしてみよう！

この真っ暗な建物にすむ風変わりないきものたちを、目（もく）で分けてみると、その個性がみえてきます。いきもの名前が書いてあるプレートをチェックしてみてください。

ちょうこう 鳥網
 全身が羽毛で覆われ、くちばしをもち卵から生まれ育つ仲間

ほにゅうこう 哺乳網
 お母さんのおっぱいを飲んで育つ仲間

夜行性の猛禽

ワシミミズク

オオコノハズク

目

ルーセント

オオコウガク

空を飛ぶ

目

虫を食べる

ヨツユビハリネズミ

目

頑丈な歯で植物を食べる

ムササビ

タノヲミ

マムシ

目

ほかの動物を食べる

ハクビシン

フェネック

シロネオヤマン

目

シロムシゴアラ

木木むら

スローリス

レッサー スローリス

ヒトもここに入ります

目

ツチブタ

目

…?

すべてのいきものは、その特徴によって細かく分類され、まとめられています。“目（もく）”は、おおまかな階級のひとつです。夜行性動物館だけでも7つもの目（もく）に分類されているということ、多様ないきものが暮らしていることがわかりいただけるでしょう。

わたしたちヒトは、動物界脊椎動物門 哺乳綱霊長目 ヒト科ヒト属 ヒト となります。

ふつうは昼行性です。



- 界 かい
- 門 もん
- 綱 こう
- 目 もく
- 科 か
- 属 ぞく
- 種 しゅ



かんしもく
管歯目には

ツチブタ科 ツチブタ属 ツチブタ

たった一種類しかいません

そのため管歯目をツチブタ目と呼ぶこともあります。

これが何を意味するかというと、たとえば、日本平動物園にもいる

シロサイ マレーバク ポニー



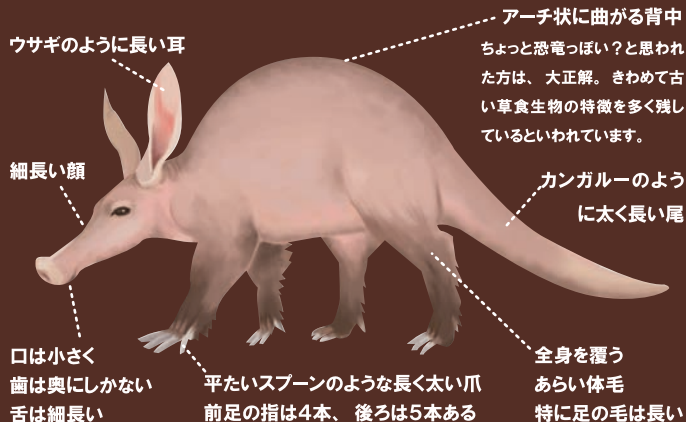
彼らは、それぞれ全然ちがういきものにみえますが、分類上は奇蹄目（きていもく）というグループです。

目（もく）とは、それほど大きなグループなのに、管歯目はツチブタたった一種類しかないグループなのです。

つまり、ツチブタは **きわめて独特ないきもの** といえます。

もちろんブタという名前がついていても、ブタとはまったく別のいきものです。見た目にもあまり共通点はありません。むしろヒトとニホンザルのほうがずっと近い仲間です。ヒトがツチブタとちがうように、ブタとツチブタもちがうのです。

ツチブタについて



「ビジターセンター」には、ツチブタの骨格標本があります。みにいってみましょう！

ツチブタと穴

彼らの爪や足は、とても穴掘りに適しています。モグラが掘るような、地面の中でつながっている複雑なトンネルを掘ることができるのです。穴の中は涼しくて快適なので、ハイエナなどの大きな動物にとられてしまうこともあります。生活するための穴とは別に「避難するための穴」をつくることも知られています。また、穴の中では、からだの向きを変えるために、「でんぐり返し」をすると考えられています。運がよければ、夜行性動物館でその動作をみられるかもしれません。



ツチブタの暮らし

アフリカの草原地帯や森林地帯に暮らしています。昼間は穴の中で休んでいて、夕方から夜になると地上へ出てきます。シロアリを探し何キロも歩き回ります。アリ塚をみつけると、力強い前足で一部を破壊し、そこから細長い舌をさしこんで、くっついてきたアリをなめとって食べます。

夜行性動物館で

近くのいきもの同士を見比べられることは、動物園

大きさが違うけれど、似ている

目（もく）よりも、さらに小さなグループでも似たもの比べをしてみましょう。大きいほう、小さいほう、あなたはどちらが好きですか？



ワシミミズク

大



オオコノハスク

フクロウ目フクロウ科

同じところ：するどい爪とくちばしをもち、小動物を捕食する。樹木の上で目立たないように、地味な色と細かい模様の羽根で覆われている。耳のような羽がある。

違うところ：翼を広げた大きさ

大 120cm～180cm

小 40cm～50cm



スローロリス

大



レッサースローロリス

サル目ロリス科

同じところ：ゆっくりした動き。平べったい顔に大きな目。

違うところ：顔

大 黒っぽい

小 耳が大きい

体の大きさ

大 25cm～33cm

小 16cm～20cm



オオガラゴ

大



ショウガラゴ

サル目ガラゴ科

同じところ：すばやい動き。長い尾をもち、ジャンプが得意。

違うところ：頭から尾の付け根までの長さ

大 26cm～40cm

小 16cm～22cm

尾の長さ

大 30cm～55cm

小 15cm～20cm

オオガラゴとショウガラゴを両方みられる動物園は、全国的にも非常に珍しいです。

いきもの比べ

の醍醐味です。楽しい比べ方をいくつかご紹介します。

少し顔が似ているけれど、違う

同じところ：木登りが得意で、尾が長く、黒っぽい顔の両側に白い模様がある。



ハクビシン

鼻から顔に伸びる白い線が特徴。

違うところ

ネコ目 ←→ ネズミ目

ジャコウネコ科 ←→ リス科

雑食 ←→ 草食

中国等からの外来種 ←→ 日本在来種



ムササビ

滑空することで有名。日本固有種。

背中にたくさんの針をもつけれど、違う

同じところ：体毛が硬くまとまって針のようになっている。



ヨツユビハリネズミ

丸くなって襲われなくするための防御の針。

違うところ

ハリネズミ目 ←→ ネズミ目

ハリネズミ科 ←→ ヤマアラシ科

雑食 ←→ 草食

体長 15cm ←→ 体長 90cm

針の使い道

身を守るため ←→ 積極的な攻撃



タテガミヤマアラシ

逆立てて後ろ向きに敵に向っていく攻撃の針。

近所にいる動物と、違う



アムールヤマネコ

飼うネコにはない、子供が親を見つげるための白い模様が耳の裏にある。



ルーセットオオコウモリ

日本の本州にはないココウモリが飛ぶ虫を食べるのに対しフルーツが主食。